

## 「愛情弁当」の貨幣評価

経済学部 経済学科 松葉駿平

担当教員 国際社会科学研究院 居城琢教授

### 第1章 はじめに

#### 第1節 本研究の目的

本研究の目的は、無償労働の貨幣評価の方法論を用いて、無償労働の投入による産出物としての「家庭弁当」を貨幣評価し、その貨幣評価額の内、「家庭弁当」の生産者、すなわち保護者に帰属する賃金はいくらなのかを算出することである。また、算出された「家庭弁当」の評価額が、実際「家庭弁当」を食べてきた、もしくは食べている生徒・学生や「家庭弁当」を作っている保護者にとっての主観的な貨幣評価額とどこまで乖離があり、その乖離を生む原因が何なのかを追究する。

#### 第2節 先行研究の整理

無償の家計サービス生産統計の国際比較をより容易にするために、UNECE (国連欧州経済委員会) が「無償の家計サービス生産の貨幣評価についての指針」(以後「方針」) を2017年に公表しており、内閣府経済社会総合研究所国民経済計算部が2018年12月13日にその翻訳を公表している。無償労働の貨幣評価に向けた各国の取り組みが紹介されているが、ここでは大きく分けて2種類の無償労働の貨幣評価方法が提示されている。本論文では、産出ベースの方法を用いる。産出ベースの式は、以下のようになっている。

市場価格相当による産出額(量×価格)－中間消費

＝総付加価値

－固定資本減耗－生産に課されるその他の税＋生産に対するその他の補助金

－資本利益

＝労働投入に対する帰属報酬

ここで「家庭弁当」に焦点を移し、先行研究を紹介したい。弁当の領域においては、栄養や衛生の観点での研究は存在するが、貨幣評価そのものの研究は存在しない。「家庭弁当」に関して大規模な調査を行っている事例として、株式会社ニチレイフーズが2017年、2018年、2019年に実施した、「お弁当始めの日 大調査」がある。日本のお弁当事情について様々な観点で調査しているのだが、本研究と特に関係ある調査としては、2018年の「一食のお弁当費用」、2019年の「お弁当作りにかかる時間」についての調査がある。

#### 第3節 研究の仮説

「お弁当作り」は無償労働である。そのうえで、「家庭弁当」は、「愛情弁当」であり、高い付加価値のある昼食であるという仮説を立てる。早起きをして、子供の登校時間までにお弁当を作り上げること、それを毎日続けることは、家事労働の中でも特に時間に追われる重労働である。そして、「家庭弁当」には子供が困らないよう、液漏れ防止や

防腐の工夫が施されている。保護者が子供を思う気持ちによって成り立つ「家庭弁当」は、その気持ちが子供にも伝わることで、貨幣評価額にも付加価値の増加の方向に寄与すると考える。

## 第2章 横浜市の中学校昼食を取り巻く状況

横浜市が行った、平成26年12月「横浜市らしい中学校昼食の在り方」アンケートでは、よく食べる昼食として、回答した中学生1,875人の内、96.9%が「家庭弁当」を挙げている。平成31年4月に横浜市が市内の中学校11校を対象に実施された「モニター校アンケート」においては、よく食べる昼食として、図2-1-2のように、回答した中学生981人の内90.1%が「家庭弁当」を挙げている。また、令和元年10月に横浜市が市内の中学校18校を対象に実施された「横浜市の中学校昼食に関するアンケート」では、対象となった保護者2,118人の約7割が「とても負担に感じている」「お弁当づくりは負担に感じているが、子供のために頑張っている」と回答している。

これらのアンケートから読み取ることができる状況は、お弁当を作ってもらう子世代は、保護者の「家庭弁当」に肯定的な印象を持ち、それ故に「家庭弁当」を昼食を選択し、その期待に応えるべく、7割の保護者が負担に感じながらもお弁当づくりをしているということである。

## 第3章 「家庭弁当」の貨幣評価

### 第1節 「家庭弁当」の定義

「お弁当作り」の工程をもとに、「お弁当作り」を構成する要素を整理する。順序は各

家庭によって異なるであろうが、主な構成要素は、①献立を考える、②買い物に行き、必要な材料、ここでは調理器具などお弁当作りに関わる全ての用具も含む、を揃える、③調理をする、④完成した料理を弁当箱に詰める、⑤持ち運び可能な形式で子供に持たせる、⑥-①子供が持っていき、⑥-②子供が学校で食べる、⑥-③子供が家に持って帰る、⑦弁当箱を洗浄する、の9つに集約される。ここで、全ての要素が、家族内で完結していることに注目したい。言い換えれば、家族外の人がこれらの要素に直接的な関与をしていないということである。

### 第2節 産出ベース方式による「家庭弁当」の貨幣評価

「お弁当作り」の①献立を考える、③調理をする、④完成した料理を弁当箱に詰める、⑤持ち運び可能な形式で子供に持たせる、⑦弁当箱を洗浄する、は無償労働に含まれる。産出ベース方式の式は以下である。なお、本論文で追究しきれなかった数値については、文字で置いている。「お弁当作り」に必要な材料は主に食材である。中間費用については、株式会社ニチレイフーズが実施した「2018 お弁当大調査」で対象の33,000人に聞いた「一食あたりにかける費用」の平均、231.5円を用いる。産出ベースの式に各数値を当てはめる。

$$\begin{aligned} & 1 \times 495.98 - (231.5 + \alpha) \\ & = 264.48 - \alpha \\ & \quad - \beta - \gamma \\ & = 264.48 - \alpha - \beta - \gamma \end{aligned}$$

したがって、労働投入に対する帰属報酬は、 $264.48 - \alpha - \beta - \gamma$ 円と分かる。ここで、

$$\alpha + \beta + \gamma < 264.48$$

が成り立つ限りにおいて、帰属報酬が存在することが分かる。

#### 第4章 「学校の昼食に関するアンケート」について

このアンケートは、Google フォームを用いて、全年齢を対象として 115 人に行った。第3章にて、独自の「学校の昼食に関するアンケート」調査での「ご自身のご両親や祖父母が作られたお弁当には何円まで払っていいと思いますか？」という質問おける、回答者 115 人の平均回答金額は 495.98 円と述べた。この主観的な「家庭弁当」の価格をもう少し詳しく見てみる。

まず、「家庭弁当」の価格決定要因を、時間や手間がかかっていること、自分の好みを分かっていること、言い換えれば、「保護者の愛情」と答えた人、一方で単なる「材料費の総計」と答えた人の間で価格設定に差があったかを見る。結論としては、「保護者の愛情」と答えた 54 人の平均金額は、615.09 円、「材料費の総計」と答えた 26 人の平均金額は 348.07 円であった。

次に、年代別に主観価格の設定を分析する。ここでは、大学生以下の「学生」と、「社会人」に分けて分析する。「学生」の 61 人の平均回答価格は、521.17 円、「社会人」の平均回答価格は、469.44 円である。「学生」と「社会人」で金額に差が出ている理由としては、「学生」61 人のうち価格決定要因を「保護者の愛情」とした人が 32 人で 52.5% であったのに対して、「社会人」54 人のうち価格決定要因を「保護者の愛情」とした人が

22 人で 40.7% であり、前述したように「保護者の愛情」を価格決定要因とした人のほうが設定価格を高くする傾向があることが考えられる。裏を返せば、現に子供に対して「家庭弁当」を作っている社会人に分類される人のほうが、「家庭弁当」が夕食や朝食の残りを活用して安く作られているということに気が付いているからということが考えられる。実際、価格決定要因を「材料費の総計」とした社会人 17 人のうち、6 人は残り物が利用できるからと答えている。

このように、アンケート調査によって、「保護者の愛情」と主観的な価格の相関関係、年代と価格の相関関係が分かった。「保護者の愛情」と主観的な価格には正の相関があり、「家庭弁当」を作られる、作られてきた「学生」という年代と主観的な価格にも正の相関があることが分かった。

#### 参考文献

「無償労働の貨幣評価について」 平成 9 年 5 月 15 日 経済企画庁経済研究所国民経済計算部

[https://www.esri.cao.go.jp/jp/sna/sonota/satellite/roudou/contents/unpaid\\_970515.html](https://www.esri.cao.go.jp/jp/sna/sonota/satellite/roudou/contents/unpaid_970515.html)

「無償労働の貨幣評価の調査研究」 平成 21 年 8 月 24 日 経済社会総合研究所国民経済計算部

<https://www.esri.cao.go.jp/jp/sna/sonota/satellite/roudou/contents/20090824g-unpaid.html>

「国連欧州経済委員会 UNECE 無償の家計サービス生産の 貨幣評価についての指

針 Guide on Valuing Unpaid Household Service Work (仮訳) 平成 30 年 12 月 13 日 経済社会総合研究所 国民経済計算部  
[https://www.esri.cao.go.jp/jp/sna/sonota/satellite/roudou/contents/pdf/181213\\_honyaku.pdf](https://www.esri.cao.go.jp/jp/sna/sonota/satellite/roudou/contents/pdf/181213_honyaku.pdf)

「2008SNA に対応した我が国 国民経済計算について (平成 23 年基準版)」平成 28 年 11 月 30 日 内閣府経済社会総合研究所国民経済計算部  
[https://www.esri.cao.go.jp/jp/sna/seibi/2008sna/pdf/20161130\\_2008sna.pdf](https://www.esri.cao.go.jp/jp/sna/seibi/2008sna/pdf/20161130_2008sna.pdf)

「給食の歴史」 藤原辰史 岩波新書 2018 年 11 月 20 日

株式会社ローソン公式サイト (企業概要 2019 年 2 月現在)  
<http://www.lawson.co.jp/company/corporate/data/about/>

「ローソン統合報告書 2019」 ローソン株式会社 2019 年 9 月  
[http://www.lawson.co.jp/company/ir/library/pdf/annual\\_report/ar\\_2019.pdf](http://www.lawson.co.jp/company/ir/library/pdf/annual_report/ar_2019.pdf)

「平成 30 年度学校給食実施状況等調査の結果について」平成 31 年 2 月 26 日 文部科学省  
[https://www.mext.go.jp/content/1413836\\_001\\_001.pdf](https://www.mext.go.jp/content/1413836_001_001.pdf)

「横浜らしい中学校昼食のあり方」平成 26 年 12 月 横浜市

[https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/kosodate-kyoiku/kyoiku/sesaku/kyusyoku/chushoku.files/0013\\_20190603.pdf](https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/kosodate-kyoiku/kyoiku/sesaku/kyusyoku/chushoku.files/0013_20190603.pdf)

「モニター校アンケート」平成 31 年 4 月 横浜市  
[https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/kosodate-kyoiku/kyoiku/sesaku/kyusyoku/chushoku.files/0003\\_20190422.pdf](https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/kosodate-kyoiku/kyoiku/sesaku/kyusyoku/chushoku.files/0003_20190422.pdf)

「横浜市の中学校昼食に関するアンケート」令和元年 10 月 横浜市  
<https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/kosodate-kyoiku/kyoiku/sesaku/kyusyoku/chushoku.files/kekka-r0111.pdf>

「2017 お弁当大調査」2017 年 4 月 3 日 株式会社ニチレイフーズ  
<https://www.nichireifoods.co.jp/wp/wp-content/uploads/2017/03/248dd932ac46db5f56700e51f8466c59.pdf>

「2018 お弁当大調査」2018 年 4 月 3 日 株式会社ニチレイフーズ  
<https://www.nichireifoods.co.jp/wp/wp-content/uploads/2018/03/66b0511a0a5f42ee8641b3cfe4ab6b02.pdf>

「2019 お弁当大調査」2019 年 4 月 8 日 株式会社ニチレイフーズ  
[https://www.nichireifoods.co.jp/wp/wp-content/uploads/2019/04/obentohazimeno\\_hi\\_2019.pdf](https://www.nichireifoods.co.jp/wp/wp-content/uploads/2019/04/obentohazimeno_hi_2019.pdf)